

新型コロナウイルスにおける、安全なチーム活動

再開に向けた感染防止対策ガイドライン

(概略)

作成者
南山田ライオンズ B チーム 監督
郡司 拓弥

最終承認者
南山田ライオンズ 代表
小谷 良平

1. チーム活動再開に向けた課題及び対策

チーム活動再開に向けた対策について、以下においてはケース毎での説明を行う。

対策の実施は終了期限を設けない。

各事項において安全が確保されたと判断が出来た場合、改めて協議を行うこととする。

(1) -A 全般的事項における対策とお願い

1. 練習参加について

練習の参加については、各ご家庭で重々検討いただき、任意とする。

2. 検温について

活動日の朝、各ご家庭での検温の実施。

以下フローでのご報告・記録を行う。

1 各ご家庭での検温を実施後検温記録用紙に記入⇒ 2 各監督へ提出

※検温記録用紙はチームにてフォーマットを作成。

3. マスク着用について

マスクの着用については、今後の暑さが増し、「熱中症」「酸欠」になる可能性も視野に入れ次のように対応とする。

① 活動場所までの行き帰りについては着用義務とする。

② 練習中については前述の「熱中症」等を考慮し義務付けはしない。

③ 監督・コーチ・保護者について活動中は着用を義務付ける

4. ソーシャルディスタンスの指導

(1)①の項（政府からの見解）参照(1)②の項（学校からの見解）参照

全てのライオンズ関係者への「ソーシャルディスタンス」の確保の為、指導を行う。

- ・設定理由・補足説明(具体例)
- ・グラウンド集合時の「3密」への指導
- ・練習中の集合・整列の際は間隔をきちんととる。
- ・アップ時の「3密」はコーチを帯同させ指導にあたる。
- ・大きい声を出す練習等を行わない。

(1)-B 練習における対策とお願い

1. 人数について

各学年での練習を行うことを厳守する。

なお、学年の人数構成の関係も考慮をし、以下の割り振りで行う。

A チーム 6 年生 5 年生 最大 13 名

B チーム 4 年生 最大 9 名

C チーム 3 年生以下 最大 7 名

2. 集合時間について

各チーム(A チーム 5,6 年生 B チーム 4 年生 C チーム 3 年生以下)にて、

集合時間に最低 30 分間の時差をつける。

3. 練習時間について

練習時間については段階的な再開を軸として、まずは原則 2 時間とする。

・補足説明

また、練習時間については段階的に増やしていければと考えている。

その為、以下モデルを作成する。

ステージ 1	2 時間	6 月末までを予定とする。
ステージ 2	半日練習	全日練習での安全が確保と判断されるまで

・全日練習について

安全が確保・大会の日程等についての見通しがつくまで全日練習については現時点では

予定しない。

4. 練習場所について

練習場所については、前述(1.人数についての項参照)に記載をした

グループにて、各グラウンドの 4 隅を使って練習することを厳守する。

また、取得されているグラウンドについては有効活用することとする。

例)AM 神無公園 PM 牛久保西公園 取得の場合は必ずチームを分けて予定を組む

5. 補食について

補食の持参については衛生面を考慮し、禁止とする。

6. 道具について (1)①の項(政府からの見解) 参照

バット・グローブは他人の利用をすること禁止とし、指導を行う。

また、新たな道具の購入・消毒対応も実施向け準備をする。

(1)-C 遠征における対策とお願い

遠征における事項については大会事務局からの連絡・指示があった際にはルールに従う。

また現時点で、大会日程・開催の可否が未定の為、本項については草案とさせて頂く。

大会等の日程について、明確に出た時点で遠征については再考する

1. 移動について

① 区内の場合

都筑区内の遠征の場合、原則自転車移動とする。

⇒自転車での遠征が困難な選手のみを配車組みをして対応。

② 区外遠征の場合

車での移動となるが以下について要請をする。

・A 分散乗車

選手・監督・コーチ、運転手、母サポを含め

各車の定員に対し 60%程度の乗車率を目指す。 ex) 7人乗り $\times 0.6 = 4.2 \Rightarrow 4$ 人

・B 運転中の換気実施

・C 乗車前の手洗い・うがいの実施

・D 車内での食事は禁止とする。

2. 遠征の人数について

遠征の人数に関して、欠席者により、試合開催が不可能となった場合を除き、

対象の学年とその下の1学年の選手のみで遠征に行くことを厳守する。

4. その他

①チーム行事について

以降のチーム行事については、感染状況も踏まえ、開催方法の検討を軸として検討を行う。

②活動再開後感染者が発覚した場合

(1) ライオンズ関係者(選手・監督・コーチ・保護者)にて発覚した場合

接触可能性のチーム・連盟への報告対応を行う為、監督・コーチへ報告を厳守とする。

感染が発覚した場合は、即刻チーム活動は休止とする。

場合によっては、大会等の棄権・不参加の措置をとる。

5. さいごに

本文書をご確認いただきありがとうございます。

また、平素より、南山田ライオンズのチーム活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

選手・チーム関係者において感染者が発生してしまった場合、活動休止はもちろんのこと・大会の棄権も重々可能性としてあります。我々としては野球をやりたい子どもたちの為、機会損失を出来るだけ避けてあげたいという気持ちがあります。しかしながら、昨今のコロナウイルスの感染拡大は大いに猛威を振るっていき、緊急事態宣言を発出させるまでに至りました。個々人での対策や努力もあり、今は回復傾向にあります。

チームにて検討をし、子どもたちに少しずつ、野球をやれる環境を作りたいと考えました。しかしながら、通常通りの再開とは考えてはおりません。今後の感染状況においては、更に検討する必要があるとも考えております。

今回については、関係各所からの指示・資料をもとに、安全対策を本ガイドラインにて記し、厳守することとし、活動再開をしていきたいと考えております。

また、検温・マスクの着用その他、この状況下の中、保護者の皆様にもご協力を頂く場面が引き続きあるかと思えます。子どもたちの安全対策の為、お手数をおかけしますが、ご協力をお願い致します。

運営上の困りごとにつきましては、各チーム監督にご相談いただければと思います。

最後になりますが、引き続きチーム活動へのご理解ご協力を宜しくお願い致します。

南山田ライオンズ 代表	小谷 良平
総監督	川崎 義久
A チーム 監督	佐藤 幸弘
B チーム 監督	郡司 拓弥
C チーム 監督	岸田 良一